南飛騨健康増進センター

2024年開催の南飛騨 Art Discoveryの会場となった県営の施設。
豊かな森と民家、中心施設となる健康学習センターがあり、散策が楽しめる四美の森は、クアオルト健康ウォーキングのコースとなっています。前回展の継続作品を含めエリア全体に作品が点在し、週末を中心にマルシェ「楽市楽座」も開催されます。

村上力（日本）

天平時代から続く乾漆技法に近い独自の手法で制作された等身大の人物の彫刻群が「森」をかたちづくる。

バルトロメイ・トグオ（カメルーン／フランス）

下呂の温泉文化と森に着想を得た作品。
温泉水や絵付けした陶器を用い、祈りとケアの文化を再考する。

EAT & ART TARO（日本）

シャーマンの時代から続く健康食の系譜をたどり、
現代における「健やかさ」の意味を問い直すランチを提供。

坂田桃歌（日本）

住民の記憶を描いた風景をたどり、自らの記憶と
重ね合わせながら、語らなければ消えていく土地の時間に触れる。

遠藤利克（日本）

豊かな水を湛える四美の森に水を落とし、
自然と人間の関係性を身体的に体感させる。

鬼太鼓座（日本）

地元太鼓団体との共演により様々な個性が混ざり合って
発する「天籟」が祝祭の場を創り出す。※10/25（日）

下呂温泉街

日本三名泉の下呂温泉を有し、飛騨川沿いの風情ある景観が楽しめる下呂エリア。
下呂温泉街には旅館・飲食店が多く立ち並び、温泉巡りや美味しい食事が楽しめます。
下呂温泉街内にある空き店舗、合掌造りの建物が見られる下呂温泉合掌村横で作品を展開します。

弓指寛治（日本）

飛騨川とともに生きる人や生き物の営みを、絵画や文字、
立体で紡ぐインスタレーション。

トゥ・ウェイチェン［涂維政］（台湾）

両面宿儺（りょうめんすくな）と毒龍の戦いの跡が
化石として発見された架空の遺跡から、飛騨の伝説を読み解く。

開催概要

［会期］2026年9月11日（金）–11月8日（日）＊祝日を除く火曜日休み
［会場］岐阜県下呂市内 各所

［主催］下呂アートディスカバリー実行委員会｜［会長］山内登（下呂市長）
［総合ディレクター］北川フラム（アートディレクター）｜［ビジュアルディレクター］岡﨑真理子（グラフィックデザイナー）

［参加作家］14の国と地域から59組
アートリサーチLab-岐阜大学山田研究室（日本）、EAT & ART TARO（日本）、五十川泰規／藤城太一（日本）、乾久子（日本）、END-OND（日本）、遠藤利克（日本）、下呂市立小坂中学校（日本）、一般社団法人オルスタ（日本）、鬼太鼓座（日本）、金蘭会高等学校・中学校 美術部・書道部（日本）、グアリノ アキ（日本）、偶然という奇遇（日本）、NPO法人クロスメディアしまだ（日本）、劇団三毛猫座（日本）、下呂市立下呂中学校美術部（日本）、ごちゃまぜアートの会 with ala まち元気部（日本）、後藤翔太（日本）、近藤良平（日本）、坂田桃歌（日本）、佐藤悠（日本）、ジョンベット・クスウィダナント（インドネシア）、SuperTeaTime（日本）、鈴木初音（日本）、SUZUKIMI（日本）、スタシス・エイドリゲヴィチウス（リトアニア／ポーランド）、ゼロコ（日本）、ソザイコレクティブ（日本）、泰然＋きみきみよ（日本）、タカチ マサキ（日本）、高橋匡太（日本）、竹中隆雄（日本）、竹中美幸（日本）、TA-YO-Uな☆（たようなほし）（日本）、つづく教室実行チーム（日本）、トゥ・ウェイチェン［涂維政］（台湾）、トザキケイコ（日本）、豊福亮（日本）、中垣克久（日本）、長澤伸穂（日本／アメリカ）、新山浩（日本）、西澤利高（日本）、沼田侑香（日本）、橋本雅也（日本）、原倫太郎＋原游（日本）、バルトロメイ・トグオ（カメルーン／フランス）、バンクロック・スゥラップ（マレーシア）、藤原タクマ（日本）、フタムラトトコ＋Divadlo501（日本）、マッシモ・バルトリーニ（イタリア）、マデライン・フリン＋ティム・ハンフリー（オーストラリア）、MAYA SHEN（中国／日本）、ムニール・ファトミ（モロッコ／スペイン）、村上力（日本）、モノクロームサーカス（日本）、やる（日本）、弓削一平（日本）、弓指寛治（日本）、Yoriko Maeno（日本）、ROKU＋（日本）　※2026年6月末時点、五十音順

作品鑑賞パスポート

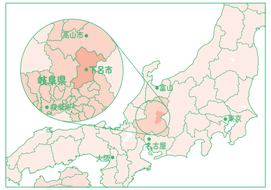
芸術祭の全作品が鑑賞できる作品鑑賞パスポート。スタンプを集めながら作品を巡ろう。
料金：一般　前売2,000円／当日2,500円　高校生以下無料
前売オンライン販売中

オフィシャルツアー「みんなの学校修学旅行」

全エリアをめぐり、みんなの学校の授業に参加する下呂駅発着のガイド&昼食はEAT & ART TARO「シャーマンと健康食」付きの日帰りバスツアー。
前後泊して温泉を楽しんだり、日帰りの場合はツアー終了後に接続する電車の待ち時間を使って下呂温泉街の散策もおすすめ

日程：9/22(火祝)、23(水祝)、27(日)、10/3(土)、12(月祝)、18(日)、25(日)、11/1(日)、3(火祝)
旅行代金：一般12,000円、小中高10,000円（バス代、作品鑑賞パスポート、昼食代、ガイド代、イベント参加費を含む）
発着：下呂駅（11:45発／18:00着）
※詳細・申込は公式ホームページ

アクセス



●車をご利用の場合
名古屋より／名古屋高速11号小牧線、国道41号経由で約2時間40分、
または東海環状自動車道「富加関IC」下車、県道58号・国道41号経由で約2時間10分。
高山より／国道41号経由で約50分。｜中津川より／国道257号経由で約1時間30分。

●JRをご利用の場合
名古屋駅＝特急ひだ(約1時間30分)＝下呂駅下車｜富山駅＝特急ひだ(約2時間20分)＝下呂駅下車

●助成／寄附・協賛
［後援］岐阜県
［助成］文化庁、台湾文化部、一般財団法人地域創造、
公益財団法人田口福寿会、公益財団法人十六地域振興財団、駐日リトアニア共和国大使館、リトアニア文化研究所
［寄附・協賛］金子工業株式会社、水明館、高山信用金庫、公益財団法人たかしん地域振興協力基金、株式会社竹原ゴム加工
株式会社日本旅行、株式会社ハウテック、太平洋工業株式会社、馬瀬建設株式会社、はぎわらe株式会社、下呂温泉旅館協同組合
益田信用組合、一般社団法人下呂建設業協会・益田建設業協同組合、桂川電工株式会社、細江土建株式会社、松田建設株式会社

DISCOVERY 2026

森と温泉、街道と廃校がつくる、日本最深部の国際芸術祭。

下呂 Art Discovery 2026 | Gero Art Discovery 2026

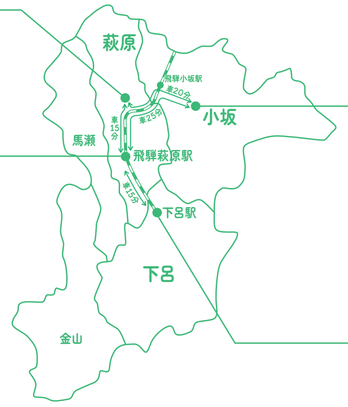
（アート　ディスカバリー）

［会期］2026年9月11日（金）–11月8日（日）*祝日を除く火曜日休み
［会場］岐阜県下呂市内各所
［Exhibition Period］September 11–November 8, 2026
*Closed on Tuesdays, except public holidays
［Venue］Gero City, Gifu Prefecture
［主催］下呂アートディスカバリー実行委員会

公式ホームページ　Instagram　LINE 公式アカウント

南飛騨健康増進センター
Minami-Hida
Health Promotion Center
9:30–16:30

萩原商店街
Hagiwara Shopping Street
9:30–18:00



旧湯屋小学校
Former Yuya
Elementary School
9:30–17:00

下呂温泉街
Gero Onsen District
9:30–17:00

芸術祭シャトルバスで、作品を巡ろう！

下呂駅から各会場を結ぶ無料シャトルバスをご用意。作品をゆっくり鑑賞するには1泊2日がおすすめです。
※会期中毎日運行（祝日を除く火曜日運休）／料金無料／下呂駅発着

萩原商店街

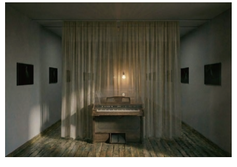
古くは飛騨街道の宿場町として栄え、越中富山の薬売りや塩ブリをはじめ、様々な物資を輸送する人で賑わった萩原エリア。会場となる萩原商店街には昔ながらの風情ある面影が残り、酒蔵や肉屋、和菓子屋、カフェ等が並び、「天領朝市」（毎月第2・4土曜日）では地元の新鮮な野菜や特産品が並びます。

スタシス・エイドリゲヴィチウス（リトアニア／ポーランド）

諏訪神社に伝わる蛇の伝説をモチーフに、
人生という道を前へ上り進む軌跡を蛇の形列として表現する。

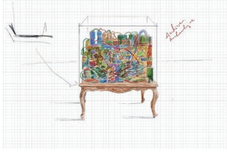
竹中美幸（日本）

旧薬器店に積み重なった音や記憶をたどり、
時間の層を呼び覚ますインスタレーション。



ムニール・ファトミ（モロッコ／スペイン）

旧理髪店に残された物を通して、
店主と家族が紡いだ暮らしの記憶や人と物の関係を可視化する。



マッシモ・バルトリーニ（イタリア）

蔵に残る電子オルガンの鍵盤に、奈良時代の百万塔に着想した
彫刻が和音を奏でる。祈りのかたちを浮かび上がらせる作品。

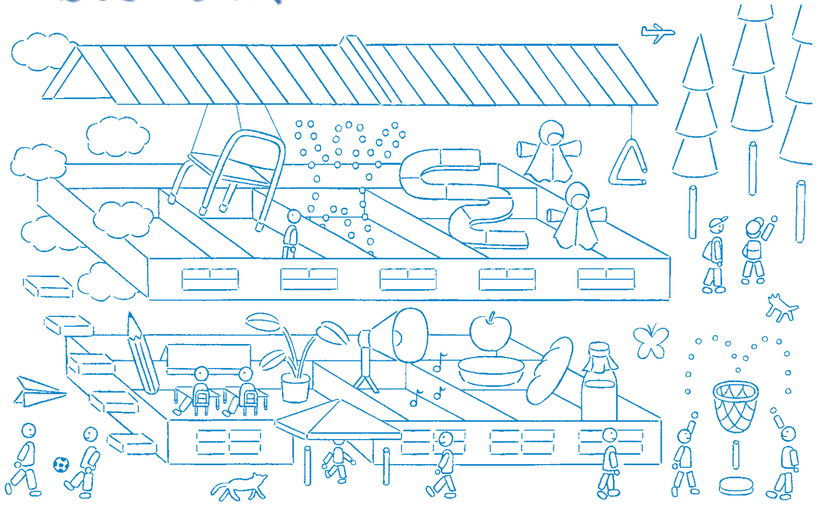
佐藤悠（日本）

飛騨萩原の地図をモチーフにした旗を住民・来場者と制作し、
人とまちをつなぐ新たな交流の風景を生み出す。

モノクロームサーカス（日本）

商店街を舞台にダンスや音楽とともに新たな出会いを生む回遊型
パフォーマンス。※9/26（土）、27（日）

旧湯屋小学校



みんなの学校

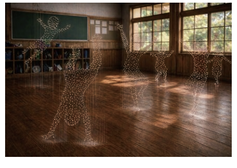
やがて取り壊される旧湯屋小学校を舞台に、みんなの心にある学校を蘇らせ、
夢の学校をつくるプロジェクト。
プラン公募では、学校への思いをもつ個人・グループを広く募集。
アーティストや建築家に加え、野球と絵を描くことが好きな東京の中学生から、
大阪の私立女子中高一貫校の書道部・美術部、まちづくりや森づくりに取り組む団体、地元の中学校、
旧湯屋小学校の卒業生まで、多様な人々、多様な思いが、旧湯屋小学校に集まります。
朝の体操・授業・給食・校内放送といった日常の学校生活から、運動会・課外授業・卒業式などの
年間行事、下駄箱からにわとり小屋の空間、学校の怪談まで、かつて子どもだった人たち、
今の子どもたちの「こんな学校あったらいいな」が集まる、2か月間の夢の学校が開校します。

作品展示

教室、廊下、階段、下駄箱、にわとり小屋まで、
築70年近い総ヒノキ造りの学校を舞台に20点を超える作品を展開します。

沼田侑香（日本）

テグスとビーズで描かれた子どもの像が、
空間に残された記憶の痕跡を可視化される。



MAYA SHEN（中国／日本）

宙に浮く椅子と足元の砂が、
記憶と時間のあいだへ誘うインスタレーション。

ジョンペット・クスウィダナント（インドネシア）

制服を着た複数の人形と、録音された声や機械式楽器の
演奏によって、架空の卒業式の情景を立ち上げる。

授業

さまざまなジャンルの専門家による授業を開催。今のこどもたち、私たちに必要な学びの場をつくります。

9/11（金）	美術	ダナ・カヴェリナ（アーティスト／ウクライナ）「地球は何から作られるか？」
9/19（土）	社会	鬼丸昌也（平和活動家／認定NPO法人テラ・ルネッサンス創設者・理事）「支援の現場で学んだ『ひと・チーム・世界の変え方』」
9/21（月祝）	図工	アンドリュー・デュアー（紙飛行機作家／在日カナダ人）「飛ぶ彫刻 立体紙ヒコーキを作って飛ばそう！」
9/22（火祝）	社会	堀井貴史（実業家／Taka Horii & Co. ファウンダー & CEO）「社長ってどんな仕事？ ～世界８カ国で働いたグローバル企業の元社長と考える～」
9/22（火祝）	社会	今村久美（教育活動家／認定NPO法人カタリバ代表理事）「未来への手紙」
9/22（火祝）	体育	為末大（元陸上競技選手／東京大学 先端科学技術研究センター 附属包摂社会共創機構 教授）「からだであそぶ」
9/23（水祝）	音楽	松田慌山（鬼太鼓座代表／天八妻者）「音でビーポー・波動でドンパン」
9/23（水祝）	理科	岡島礼奈（宇宙ベンチャー起業家／株式会社ALE代表取締役・Founder & CEO）「いま、宇宙はどうなっている？――そして、きみは宇宙でなにをする？」
9/23（水祝）	社会	上月茶奈（元議員秘書／株式会社Public Shaper Networks）「政治って、だれのもの？」
9/23（水祝）	社会	中室牧子（教育経済学）＋慶應義塾大学中室研究室「教育経済学ってなんだろう？」
9/27（日）	理科・社会	尾田榮章（元建設省河川局長／行基研究家）「『水』と『Water』は同じでしょうか？」
10/3（土）	社会	小林エリカ（作家、アーティスト）「音楽朗読劇『女の子たち風船爆弾をつくる』上映と小林エリカによるお話会」
10/4（日）	社会	水野友有（中部学院大学人間福祉学部教授）ほか「ことばによらないことばの教室」
10/4（日）	社会	オーレリウス・ジーカス（駐日リトアニア共和国特命全権大使）「リトアニア：その過去と現在」
10/12（月祝）	国語	中島京子（作家）「創作と想像」
10/18（日）	社会	吉田浩一郎（起業家／株式会社クラウドワークス代表取締役社長兼CEO）「夢破れた演劇青年が、芸術を支えるようになるまで」
10/25（日）	社会	池澤夏樹（作家）「憲法なんて知らないよ」
10/25（日）	体育	近藤良平（振付家・ダンサー／コンドルズ主宰）「ダンスは、身を救う」
11/1（日）	家庭科	EAT & ART TARO（アーティスト）「家庭科タイムトラベル」
11/1（日）	社会	安部敏樹（起業家／株式会社Ridilover代表取締役）「社会課題を、みんなのものに。～リディラバの挑戦」
11/3（火祝）	国語	永井玲衣（作家）「ことばに出会う、ことばを育てる」

［授業の鉄人コンクール受賞者］
9/12（土）黒田千恵、9/13（日）安江哲弘、9/19（土）近江望、9/20（日）石川正明、9/26（土）西田耕介、9/27（日）曽我幸正、10/3（土）的場泰良、10/4（日）八神進祐、10/10（土）倉地泰輔、10/11（日）有江聖、10/17（土）上田祐子、10/18（日）水流卓哉

多様な関わり

アーティストや建築家に加え、全国各地から多様な人々が旧湯屋小学校に集い、ワークショップや展示を行います。

金蘭会高等学校・中学校 美術部・書道部（日本）

大阪の私立中高一貫校と地域を結ぶプロジェクト

TA-YO-Uな☆（たようなほし）（日本）

アール・ブリュット作家とともに、
知多半島から修学旅行にやってくる

多彩なプログラム

会期中の各週末には、運動会（10/24）と卒業式（11/8）の全校行事のほか、
さまざまなWS、イベント、課外授業、またその成果展示が繰り広げられます。

ソザイコレクティブ（日本）

森を学びの場に、素材採集と哲学対話を行う
課外授業。※9/26（土）、10/3（土）、17（土）

パンクロック・スウラップ（マレーシア）

作家の演奏に合わせ、参加者全員で大型版木を
踏んで刷るワークショップ。※10/10（土）～12（月祝）

Yoriko Maeno（日本）

市民とプロパフォーマーが創るこの場所限りの
パフォーマンス。※10/17（土）、18（日）

時間割イメージ（日によって異なります）

各週末には1-5限でプログラムが組まれ、
給食も提供されます。

9:40～	朝の会・ラジオ体操
1限目	ワークショップ
2限目	授業（社会）
12:00～	給食・放送・昼休み
3限目	EVENT
4限目	ワークショップ
5限目	授業（国語）
～17:00	帰りの会・掃除